

社会資本総合整備計画（防災・安全） 事後評価書

平成29年3月10日

計画の名称	安全・安心で快適な魅力あるまちの実現（防災・安全）		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	市川市
計画の目標	下水道整備を行い、安全で安心して暮らせる快適な魅力あるまちを実現し、質の高い都市基盤整備を進める。		

計画の成果目標（定量的指標）	①下水道による都市浸水対策達成率5.7%（H23）から15.6%（H27）に増加させる。 ②合流式下水道改善率を0%（H23）から100%（H25）に増加させる。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
① 下水道による都市浸水対策率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）	5.7%	9.0%	15.6%							
② 合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積（ha）／合流区域面積（ha）	0%	100%	100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	27,367百万円 15,464百万円	A	27,117百万円 15,342百万円	B	-	C	250百万円 142百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1% 1%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	平成28年11月
・市川市下水道審議会にて下水道事業の実施状況を報告	公表の方法
	市のホームページにて公開

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業										全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
									H23	H24	H25	H26	H27			
菅野処理区																
A1-1-1	下水道	一般	市川市	直接	市川市	菅野処理区合流式下水道改善事業	簡易水処理施設（処理能力：60,000 m ³ /日）、流下型貯留施設（貯留規模：1,400 m ³ ）	市川市							1,680 1,555	合流改善
A1-1-2	下水道	一般	市川市	直接	市川市	菅野処理区改築事業（長寿命化）	調査・計画策定、ポンプ場・管渠改築	市川市							1,000 221	長寿命化支援助成
江戸川左岸処理区																
A1-2-12	下水道	一般	市川市	直接	市川市	高谷1,2号幹線等（浸水対策）	L=4.6km	市川市							1,210 553	
A1-2-13	下水道	一般	市川市	直接	市川市	市川南6,7,8号幹線等（浸水対策）	L=2.7km	市川市							8,000 1,455	
A1-2-14	下水道	一般	市川市	直接	市川市	大和田ポンプ場設置（浸水対策）	ポンプ場 27m ³ /s	市川市							13,158 11,380	
A1-2-15	下水道	一般	市川市	直接	市川市	市川南ポンプ場設置（浸水対策）	ポンプ場 10m ³ /s	市川市							2,054 147	
全域																
A1-3-1	下水道	一般	市川市	直接	市川市	下水道総合地震対策事業（地震対策）	地震対策総合計画策定（3処理区）	市川市							15 12	下水道総合地震対策事業
									合計					27,117 15,322		

B 関連社会資本整備事業										全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名			事業実施期間（年度）				
									H23	H24	H25	H26	H27			
									合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
C1-1-1	下水道	一般	市川市	直接	市川市	高谷・田尻排水区管渠整備（浸水対策）	L=0.2m	市川市						250 142	
合計											250 142				
番号 一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C1-1-1	基幹事業と一体的に実施することにより、浸水対策の効果が図れるため。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 合流式下水道改善事業により高速ろ過施設の設置、スクリーンの設置等を行い、未処理放流回数低減、放流水質の改善がなされた。 外環道路事業に併せて幹線整備等の浸水対策を進めたが、外環道路事業の遅れにより、開通目標が平成27年度から平成29年度に延伸となり関連する大和田ポンプ場および幹線の整備が遅れたため、効果の発現を確認するに至らなかった。 									
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策率）	最終目標値	15.7%	目標値と実績値に差が出た要因	外環道路事業工事の遅延により、外環道路事業用地内に整備する予定の幹線工事全体に遅れが生じたため当初の目標に至らなかった。						
		最終実績値	6.1%								
	指標②（合流式下水道改善率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	100%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)											
3. 特記事項（今後の方針等）											
<ul style="list-style-type: none"> 当該計画において実施した外環道路事業に併せた幹線等の整備を引き続き実施することにより、浸水対策を進める。 浸水被害常襲地域の市川南排水区及び高谷・田尻排水区の幹線整備を進める。 											

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 安全・安心で快適な魅力あるまちの実現 (防災・安全)	交付対象	市川市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		

市川市整備計画図

全域：A1-3-1 下水道総合地震対策事業 (地震対策)

